

歴教協第77回全国大会 = 滋賀大会 = 分科会報告レポート一覧

第1分科会 地域の掘りおこし ※オンラインなし	
千葉	満蒙開拓青少年義勇軍－千葉県出身者を追跡する
兵庫	疎開学童記念碑 不戦平和の誓い
千葉	木更津高等女学校生徒が描いた絵日記をめぐる人びと
兵庫	近鉄赤目口駅・榛原駅・河内国分駅列車銃撃事件
三重	動物と大東亜戦争
福島	地域の歴史と高校演劇～信夫山秘密地下工場と松川事件
三重	韓国と台湾の戦争遺跡保存
埼玉	教育運動史としての「校内暴力の嵐」から45年
第2分科会 日本前近代	
大阪	人類の歴史・旧石器時代からの小学校歴史学習プラン（案）
千葉	古墳時代中期以降、なぜ女性首長は減っていったのか
奈良	授業づくりにおける生成AIの活用をめぐる-
千葉	人びとにとって中世荘園は〇〇な世界
茨城	どちらの『蒙古襲来絵詞』が元々の絵か
青森	八戸の安藤昌益 その2
新潟	あなたは会津へ行くか、越後に残りますか？
第3分科会 日本近現代 ★（9日午後は「歴史総合」へ）	
千葉	「琉球処分」を問い直す－それは解放だったのか？
京都	朝鮮半島の平和を希求して
埼玉	関東大震災朝鮮人虐殺事件をどう継承するか
宮城	日本国憲法の歴史の原点を検証する－考察
神奈川	神奈川の地域に根ざした歴史教育:生徒自主活動から
愛知	ピースリレー～戦後80年の取り組み～
第4分科会 世界 ★（9日午後は「歴史総合」へ）	
京都	日本人はどこから来た？
千葉	朝鮮学校生と学ぶ「朝鮮人女性飛行士」朴敬元の生涯
静岡	歴史の扉 チューリップの歴史
埼玉	6単位「歴史総合」を目指して（案）
東京	市民のための「歴史総合」
大阪	歴史総合を主権者教育に資する科目にするための方法論

第5分科会 憲法と現代の社会	
茨城	戦後80年と復古的教科書の押しつけ
愛知	判断基準を先行学習させる必修「公共」への向かい方
京都	「公共」に憲法教育を活かす本づくり
京都	憲法の平和主義と現代の課題－防衛力増強と武器輸出
千葉	日本人米軍脱走兵のベトナム戦争
埼玉	「戦争体験の継承～平和学習と初めての公民学習～」
大阪	議員と対話した高校1年生の政治体験
兵庫	戦争の記憶を継承する高校生
東京	共生のための「対話」としての歴史学習
第6分科会 思想・文化・地域活動	
千葉	ネットラジオ番組の制作とその内容の教育的考察
大阪	さくら今池公園まつり
三重	桑名打毬戯
京都	廃校も活用した地域に根ざす小中一貫校の平和教育
愛知	平和を希求した若者たち一挙母平和を守る会の記録
山梨	戦時の山梨県松里の陸軍食糧工場疎開と朝鮮人労働者
長野	長生炭鉱と平岡ダムを結ぶ市民運動
秋田	朝鮮人無縁仏追悼慰霊祭実行委員会活動の35年
第7分科会 現代の課題と教育	
北海道	イウォロを通して学ぶアイヌ文化
北海道	多文化との共生社会の実現へ向けて
北海道	教員養成学生の排外主義言説と論争問題学習
大阪	世界遺産の教材化－地理総合での探究学習への挑戦－
神奈川	現代の課題に出会う高校地理総合・世界地誌学習
愛知	りりちゃん事件から考える
滋賀	どのように水俣病に関する学習を行っていくべきか
愛知	みんながワクワクした1日～博学連携の魅力と可能性～
第8分科会 平和教育	
長野	松代大本営地下壕と現代の私たち
長野	歴史認識と東アジアの平和フォーラム
東京	「戦争と平和を考える新聞」から広がる平和教育
和歌山	和歌山における戦跡調査のこれまで
埼玉	『日本軍兵士と慰安婦』の授業～問われる男性の性意識
愛知	「宝島」行くぞー沖縄研修旅行の成果と課題
広島	平和公園は訴える－『ガイドが語る…』と姉妹公園協定
沖縄	沖縄県における平和教育カリキュラム案の検討

第9分科会 幼年・小学校低学年	
静岡	近年のレポートが大事にしてきたもの
三重	校区たんけんー2年生生活科ー
大阪	小学2年平和学習 「ぞうれっしゃがやってきた」
第10分科会 小学校3・4年	
東京	「関東大震災・朝鮮人虐殺」の歴史を授業で取り上げて
埼玉	3年生の合同社会科見学の意義と実践
滋賀	小学3年生の地域学習における歴史認識について
兵庫	地域とつながる仕事を学ぼう 3年生地域学習
福岡	地域ではたらく人の「こまった。」を教材化する
福岡	永利牧場から食料生産を学ぶ
滋賀	子どもたちと考える戦争と平和
第11分科会 小学校5年	
三重	戦争と公害を考えるソラノイト・たずねびと
福岡	当事者の思いに寄り添うために～水俣病を考え続ける～
北海道	滝川と沖縄戦・憲法
大阪	地域の中小工場への社会見学を通して学んだこと
埼玉	ガザの飢餓の状況に触れる中で考えた日本の食料問題
第12分科会 小学校6年	
奈良	小学校の歴史学習での画像利用を検討する(古代飛鳥)
韓国	記憶はどのように民主主義になるか：小学校6年の授業
千葉	韓国絵本『田舎ネズミの都見物』を使った授業
千葉	学校図書館で行った平和のための取り組み
神奈川	平和を願ってー6年図工で高校生の被爆者の絵にふれて
千葉	地域の施設から始めるアジア太平洋戦争の学習
沖縄	伊江島の土地闘争の教材化
千葉	国際理解・キャリア・そして学校
第13分科会 地域の中の子どもたち ※オンラインなし	
三重	見て、調べて、やってみる
滋賀	滋賀県の学童保育の今 ～現状と課題～
埼玉	自治体は活動の運営と発展のために責任がある
京都	少年団活動と、30年間の子どもの変化
滋賀	子どもたちの訴えに教師はどう答えるのか？
滋賀	居場所とソーシャルワークでこども若者の育ちを支える
岐阜	地域の中で子どもたちを育む学校をめざして

第14-1分科会 中学校 地理と国際理解・平和分散会	
東京	「人が見える」を目指した授業
福岡	私たちに身近な「外国人」について学ぶ
兵庫	未来の年表～未来の日本をどのようにデザインすべきか
埼玉	主権者を育てる平和教育
神奈川	縄文時代から問う「首都圏外郭放水路」の授業実践
滋賀	日本にいる外国人
滋賀	湖南市下田から北海道比布町へ移住した人々
神奈川	生徒が向き合う課題「君は特攻に行くか？」
京都	平和の授業のあり方を考える～パレスチナ問題を例に～
第14-2分科会 中学校 歴史分散会	
東京	相沢忠洋物語と茂呂遺跡
埼玉	子どもたちと学んだ草加の歴史
埼玉	「西洋」を人々はどう受け止めた？
東京	中2歴史で主権者意識をどう育てるか～明治期の授業
滋賀	涙と笑いの戦中、戦後
北海道	家族を通して聞く歴史を伝え聞く全校社会
埼玉	戦争・人権・平和とスポーツ
第14-3分科会 中学校 公民分散会	
福島	私たちは何から情報を得ているのか
東京	中学校社会科におけるジェンダー教育の実践
神奈川	2度の国政選挙を題材にした「模擬選挙」の実践
千葉	袴田巖さんを救え！ープロ・ボクサーたちの闘いー
広島	全校で取り組んだ「人権問題」学習
島根	模擬選挙における生徒たちの投票行動とその背景
滋賀	中学校における法的リテラシーを育むの授業実践
東京	失われた30年の視点でこれまでの経済学習を問う
第15分科会 高校 ★ (9日午後は「歴史総合」へ)	
滋賀	「選択・判断の手掛かりとなる考え方」を育てる授業
滋賀	哲学対話を用いた歴史授業
滋賀	「居場所」と「出番」を創る地理授業
埼玉	地理総合の授業実践(仮)
滋賀	資料から考える歴史総合
埼玉	好奇心に火をつける ～総探の時間が生み出す豊かな学び
第16分科会 大学 ※ (オンラインなし 9日午後のみ実施)	
滋賀	教職課程における「平和主義」の学び方
滋賀	授業プランをどのように深化させればいいのか
愛知	『新 未来をひらく歴史』をどのように活用するか
東京	渋沢栄一史料館デジタル資料を教材とした授業実践

第17分科会 障がい児教育	
埼玉	特別支援学級の子どもたちと絵本で平和を考える
北海道	特別支援学校(知的)における選挙教育
兵庫	聾者をとりまく社会の変化を通じた今日的な接し方とは
東京	特別支援学校での平和学習～沖縄と長崎の修学旅行～
第18分科会 社会科の学力と教育課程	
愛知	「社会科通信」で育てる社会認識能力
千葉	学生は白鳥晃司実践(袴田事件)からなにを学んだか
北海道	社会科の学力と教育課程の これまで と これから
韓国	デジタル視空間での現代世界探究
三重	三部制高校における主権者教育の試み
埼玉	平和な社会をつくりたい 一理念と現実をのりこえて一
埼玉	授業以外で勝負!主権者教育に向けた修学旅行と模擬選挙
沖縄	『次期学習指導要領へ向けた動向と社会科の授業』
第19分科会 授業方法 ※オンラインなし	
千葉	描かれた大友義鎮から考えるカトリック世界の「日本」
神奈川	平和教育実践:生徒と考えた「戦争のつくり方」
神奈川	地域連携における造形活動
神奈川	長久保赤水図(赤水図)を活用した読図活動の実践
奈良	新聞記事から歴史を読み取る
千葉	平和の叫びが聞こえる一学徒隊の証言から考える戦争
兵庫	参加交流型の地理総合の授業が生徒の学びを変えた!
神奈川	哲学対話の可能性
兵庫	集団的自衛権肯定の模擬授業を、学生はどう批評したか
特設 「歴史総合」 …第3日本近現代、第4世界、第16高校 合同	
静岡	フランス革命の光はどこまで届いたのか
埼玉	音楽から感じる近代化
和歌山	「児玉仲児」を通して考える日本の近代史
愛知	日本国憲法成立をどこから教えたか
愛知	日系移民からみたアジア・太平洋戦争
東京	歴史総合などにおける加害の扱い
大阪	戦争、戦後の記憶をどう継承するのか
神奈川	歴総で生徒とともに世界を分断する差別と偏見を考える
千葉	生徒の問いでつなげるパレスチナ問題の授業

注記

※印の分科会は、会場参加のみで、オンライン参加はできません。

★印の分科会は、9日午後の時間帯に特設「歴史総合」分科会を開催します。